

第2期京田辺市子ども・子育て支援事業計画における重点事業実施調査票

資料 5

基本目標Ⅱ 子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
 施策目標(1) 心身を健やかに育む子育て環境の充実

No	① 事業名	② 事業概要	③ 担当課(室)	④ 令和6年度末の目標		⑤ 令和6年度末の目標に対する評価 < A(十分効果的に実施) B(概ね効果的に実施) C(内容の見直しが必要) D(施策の検討が必要) E(未実施) > ⑥ 令和6年度末の目標に対する事業の検証コメントと実績数等						
						第1期計画				第2期計画		
						平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
Ⅱ	1	1	子育て世代包括支援センターの運営事業	<新規事業> 妊産婦・乳幼児等の状況を継続的に把握し、妊産婦や保護者の相談に保健師等の専門職が対応し、必要な支援の調整や関係機関と連携する等、切れ目のない支援を行う 再掲Ⅰ-(1)、Ⅰ-(2)、Ⅰ-(4)、Ⅱ-(4)	子育て支援課	専門職員の配置	新たに、令和6年度末までに、専門職員(保健師、利用者支援専門員等)の配置します。	⑤ E(未実施)	E(未実施)	A(十分効果的に実施)	A(十分効果的に実施)	A(十分効果的に実施)
								⑥		専任保健師及び利用者支援専門員を各1名配置	専任保健師及び利用者支援専門員を各1名配置	専任保健師及び利用者支援専門員を各1名配置
Ⅱ	1	2	保育士・幼稚園教諭等の確保事業	<新規事業> 就職フェアの開催	輝くことも未来室	年2回開催	引き続き、毎年2回就職フェアを開催します。	⑤ E(未実施)	A(十分効果的に実施)	A(十分効果的に実施)	B(概ね効果的に実施)	C(内容の見直しが必要)
								⑥		1回実施した。来場者数 33人	2回実施した。来場者数 合計 47人	2回実施した。来場者数 合計 8人
Ⅱ	1	3	子ども生活・学習支援事業	家庭で学習環境を整えにくい子どもを対象に実施 再掲Ⅰ-(4)、Ⅱ-(5)	社会福祉課	2か所で継続実施	引き続き、2か所でそれぞれ特色を生かした運営を行い、学習習慣の定着化・子どもの居場所の提供を行います。	⑤ B(概ね効果的に実施)	B(概ね効果的に実施)	B(概ね効果的に実施)	B(概ね効果的に実施)	B(概ね効果的に実施)
								⑥	2箇所で開催した。民間塾と同志社大学と連携し学生ボランティア講師による教室を開講し、それぞれ特色を生かした運営を行った。利用人数 14人	2箇所で開催した。民間塾と同志社大学と連携し学生ボランティア講師による教室を開講し、それぞれ特色を生かした運営を行った。利用人数 24人	2箇所で開催した。民間塾と同志社大学と連携し学生ボランティア講師による教室を開講し、それぞれ特色を生かした運営を行った。利用人数 18人	2箇所で開催した。民間塾と同志社大学と連携し学生ボランティア講師による教室を開講し、それぞれ特色を生かした運営を行った。利用人数 15人

施策目標(2) 多様な学びが実現できる居場所づくり

No	① 事業名	② 事業概要	③ 担当課(室)	④ 令和6年度末の目標		⑤ 令和6年度末の目標に対する評価 < A(十分効果的に実施) B(概ね効果的に実施) C(内容の見直しが必要) D(施策の検討が必要) E(未実施) > ⑥ 令和6年度末の目標に対する事業の検証コメントと実績数等						
						第1期計画				第2期計画		
						平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
Ⅱ	2	1	同志社大学等と連携した子どもの学びの機会づくり	<新規事業> 子どもたちに理科・スポーツ等への興味・関心を高める取組の実施	市民参画課	年3回実施	新たに、令和6年度末までに、子ども達が理科への興味・関心を高める実験教室の開催や体育会クラブの部員から技術等を学ぶスポーツ教室を年3回開催します。	⑤ E(未実施)	E(未実施)	E(未実施)	E(未実施)	E(未実施)
								⑥				

No	① 事業名	② 事業概要	③ 担当課(室)	④ 令和6年度末の目標	⑤ 令和6年度末の目標に対する評価 < A (十分効果的に実施) B (概ね効果的に実施) C (内容の見直しが必要) D (施策の検討が必要) E (未実施) > ⑥ 令和6年度末の目標に対する事業の検証コメントと実績数等							
					第1期計画				第2期計画			
					平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
II	2	2	放課後子ども教室	児童が放課後を安全で健やかに過ごせる居場所づくりと地域の方々との世代間交流をねらいとして実施	社会教育課	9小学校区で実施	引き続き、9小学校(全小学校区)で、放課後子ども教室(プラン)を実施します。	⑤ A (十分効果的に実施)	A (十分効果的に実施)	A (十分効果的に実施)	A (十分効果的に実施)	C (内容の見直しが必要)
								⑥	年間実施日数 106日 野外活動センターと市内全9小学校で実施した。 子どもの参加延べ人数 5,436人	年間実施日数 110日 野外活動センターと市内全9小学校で実施した。 子どもの参加延べ人数 4,182人	年間実施日数 99日 野外活動センターと市内全9小学校で実施した。 子どもの参加延べ人数 3,930人	年間実施日数 47日 野外活動センターと市内6小学校で実施した。 子どもの参加延べ人数 1,710人
II	2	3	子どもの居場所づくりの推進事業	<新規事業> 子どもたちが安心して過ごせる場所の確保 再掲Ⅲ-(1)	社会教育課	15か所で実施	引き続き、15か所で、子どもが安心して過ごせる場所を確保します。	⑤ A (十分効果的に実施)	A (十分効果的に実施)	A (十分効果的に実施)	A (十分効果的に実施)	C (内容の見直しが必要)
								⑥	42区・自治会のうち17箇所で開催実施	42区・自治会のうち17箇所で開催実施	42区・自治会のうち15箇所で開催実施	42区・自治会のうち15箇所で開催実施

施策目標(3) 子どもの権利擁護の推進

				④ 令和6年度末の目標	⑤ 令和6年度末の目標に対する評価 < A (十分効果的に実施) B (概ね効果的に実施) C (内容の見直しが必要) D (施策の検討が必要) E (未実施) > ⑥ 令和6年度末の目標に対する事業の検証コメントと実績数等								
					第1期計画				第2期計画				
					平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
II	3	1	LGBTへの理解促進事業	<新規事業> 子ども・親・教員向けへの周知・研修会の開催	人権啓発推進課	年1回開催	新たに、令和6年度までに、リーフレット等の活用により子ども・親・教員に周知するとともに、研修会を年1回開催します。	⑤ E (未実施)	E (未実施)	E (未実施)	B (概ね効果的に実施)	A (十分効果的に実施)	
								⑥				研修会を1回実施した。 参加者 教員含む職員164人・市民25人	ハートフルフェスタで「LGBT」をテーマにした講演会を開催した。 参加者 市民80人 LGBTに関するリーフレットを作成し、同講演会で配布した。
								⑤ E (未実施)	E (未実施)	E (未実施)	E (未実施)	B (概ね効果的に実施)	
								⑥				研修会の開催に向け、検討を行った。	
								⑤ E (未実施)	E (未実施)	E (未実施)	E (未実施)	B (概ね効果的に実施)	
								⑥				研修会の開催に向け、検討を行った。	

No	① 事業名	② 事業概要	③ 担当課(室)	④ 令和6年度末の目標		⑤ 令和6年度末の目標に対する評価 < A (十分効果的に実施) B (概ね効果的に実施) C (内容の見直しが必要) D (施策の検討が必要) E (未実施) > ⑥ 令和6年度末の目標に対する事業の検証コメントと実績数等						
				具体的な事項	第1期計画				第2期計画			
					平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
II	3	2	京田辺市 “生きる” 支援計画に 基づく事業 の推進	<新規事業> 孤立させない仕組みづくり	障がい福祉 課	ゲートキーパー養 成講座の開催	引き続き、誰もが 自殺に追い込まれ ることのないまち を目指し、生きる 視点を持った人材 を養成するため、 市民と市職員を対 象にしたゲート キーパー養成研修 会を開催します。	⑤ E (未実施)	E (未実施)	E (未実施)	E (未実施)	B (概ね効果的に実施)
												・ゲートキーパー養成研修会(市民向け) 参加者数 基礎編 22人・応用編 13人 ・市職員対象ゲートキーパー職員養成 研修会 参加者数 第1部 19人・第2部 16人 市民が自身の身心の健康に向き合い、 家族や地域の人々への声かけを行う きっかけづくりとなった。市職員は、 生きる視点を持った市民対応について 理解する機会になった。

施策目標(4) 子どもの虐待防止対策の充実

No	① 事業名	② 事業概要	③ 担当課(室)	④ 令和6年度末の目標		⑤ 令和6年度末の目標に対する評価 < A (十分効果的に実施) B (概ね効果的に実施) C (内容の見直しが必要) D (施策の検討が必要) E (未実施) > ⑥ 令和6年度末の目標に対する事業の検証コメントと実績数等								
				具体的な事項	第1期計画				第2期計画					
					平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
II	4	1	子育て世代 包括支援セ ンターの運 営事業	<新規事業> 妊産婦・乳幼児等の状況を継続的に把握し、妊産婦や保護者の相談に保健師等の専門職が対応し、必要な支援の調整や関係機関と連携する等、切れ目のない支援を行う 再掲 I-(1)、I-(2)、I-(4)、II-(1)	子育て支援 課	専門職員の配置	新たに、令和6年度末までに、専門職員(保健師、利用者支援専門員等)の配置します。	⑤ E (未実施)	E (未実施)	A (十分効果的に実施)	A (十分効果的に実施)	A (十分効果的に実施)		
												専任保健師及び利用者支援専門員を各1名配置	専任保健師及び利用者支援専門員を各1名配置	専任保健師及び利用者支援専門員を各1名配置
II	4	2	子ども家庭 総合支援拠 点整備事業	<新規事業> 子どもとその家庭及び妊産婦等を対象に、実情の把握、情報の提供、相談、調査、関係機関との連絡調整その他の必要な支援を行う 再掲 I-(1)	子育て支援 課	1か所で実施	新たに、令和4年度末までに、子ども家庭総合支援拠点整備事業を1か所で実施します。	⑤ E (未実施)	E (未実施)	E (未実施)	E (未実施)	E (未実施)		

No	① 事業名	② 事業概要	③ 担当課(室)	④ 令和6年度末の目標	⑤ 令和6年度末の目標に対する評価 < A (十分効果的に実施) B (概ね効果的に実施) C (内容の見直しが必要) D (施策の検討が必要) E (未実施) > ⑥ 令和6年度末の目標に対する事業の検証コメントと実績数等								
					第1期計画				第2期計画				
					平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
II	4	3	要保護児童対策地域協議会の機能強化	児童虐待や非行など保護を要する児童や出産前から養育に支援が必要と思われる妊婦などに対して、関係機関が連携して組織的に対応し、適切な支援を図る	子育て支援課	代表者会議：年2回 実務者会議：年5回	引き続き、代表者会議(年2回)と実務者会議(年5回)を開催します。	⑤ A (十分効果的に実施)	A (十分効果的に実施)	A (十分効果的に実施)	A (十分効果的に実施)	A (十分効果的に実施)	
								⑥	・代表者会議：年間3回開催 ・実務者会議：年間5回開催	・代表者会議：年間2回開催 ・実務者会議：年間5回開催	・代表者会議：年間2回開催 ・実務者会議：年間5回開催	・代表者会議：年間2回開催 ・実務者会議：年間5回開催	・代表者会議：年間2回開催 ・実務者会議：年間4回開催 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1回中止とした。

施策目標(5) 子どもの貧困対策

No	① 事業名	② 事業概要	③ 担当課(室)	④ 令和6年度末の目標	⑤ 令和6年度末の目標に対する評価 < A (十分効果的に実施) B (概ね効果的に実施) C (内容の見直しが必要) D (施策の検討が必要) E (未実施) > ⑥ 令和6年度末の目標に対する事業の検証コメントと実績数等								
					第1期計画				第2期計画				
					平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
II	5	1	仕事とくらしの相談室「ぶらす」による相談事業	<新規事業> 生活困窮世帯等ができるだけ早期に自立できるように専門の相談員が相談に応じ、自立支援へとつなげる	社会福祉課	1か所で継続実施	引き続き、仕事とくらしに関する総合窓口として「ぶらす」を1か所で実施します。	⑤ A (十分効果的に実施)	A (十分効果的に実施)	A (十分効果的に実施)	A (十分効果的に実施)	A (十分効果的に実施)	
								⑥	就労支援員2名・面接相談員3名の体制で自立支援に向けた相談等を実施した。相談件数 96件	就労支援員2名・面接相談員3名の体制で自立支援に向けた相談等を実施した。相談件数 65件	就労支援員2名・面接相談員3名の体制で自立支援に向けた相談等を実施した。相談件数 65件	就労支援員2名・面接相談員3名の体制で自立支援に向けた相談等を実施した。相談件数 66件	就労支援員2名・面接相談員3名の体制で自立支援に向けた相談等を実施した。新型コロナウイルス感染症の影響による相談・連携により件数が増大した。相談件数 320件
II	5	2	子ども生活・学習支援事業	児童虐待や非行など保護を要する児童や出産前から養育に支援が必要と思われる妊婦などに対して、関係機関が連携して組織的に対応し、適切な支援を図る	社会福祉課	2か所で継続実施	引き続き、2か所でそれぞれ特色を生かした運営を行い、学習習慣の定着化・子どもの居場所の提供を行います。	⑤ A (十分効果的に実施)	A (十分効果的に実施)	A (十分効果的に実施)	A (十分効果的に実施)	B (概ね効果的に実施)	
				再掲 I-(4)、II-(1)				⑥	2箇所で開催した。民間塾と同志社大学と連携し学生ボランティア講師による教室を開講し、それぞれ特色を生かした運営を行った。利用人数 14人	2箇所で開催した。民間塾と同志社大学と連携し学生ボランティア講師による教室を開講し、それぞれ特色を生かした運営を行った。利用人数 24人	2箇所で開催した。民間塾と同志社大学と連携し学生ボランティア講師による教室を開講し、それぞれ特色を生かした運営を行った。利用人数 18人	2箇所で開催した。民間塾と同志社大学と連携し学生ボランティア講師による教室を開講し、それぞれ特色を生かした運営を行った。利用人数 15人	2箇所で開催した。民間塾と同志社大学と連携し学生ボランティア講師による教室を開講し、それぞれ特色を生かした運営を行った。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一定期間の開所期間を設けた。利用人数 14人
II	5	3	くらしサポート資金による貸付事業	<新規事業> 経済的自立と生活意欲の促進を図ることを目的に、生活困窮世帯に対し、くらしの維持に必要な資金の貸付を行う	社会福祉課	継続実施	引き続き、生活困窮世帯に対して一時貸し付けを実施します。	⑤ E (未実施)	A (十分効果的に実施)	A (十分効果的に実施)	A (十分効果的に実施)	A (十分効果的に実施)	
								⑥	—	新貸付制度開始した。生活困窮世帯に対して一時貸し付けを実施した。貸付 18件 貸付額 855,000円	生活困窮世帯に対して一時貸し付けを実施した。貸付 16件 貸付額 430,000円	生活困窮世帯に対して一時貸し付けを実施した。貸付 16件 貸付額 580,000円	生活困窮世帯に対して一時貸し付けを実施した。貸付 24件 貸付額 865,000円